



一般社団法人 千葉県

作業療法士会

ニュース

2022.5 月号

76



第23回千葉県作業療法士学会開催いたしました。

発行責任者：坂田祥子

編集者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 広報部 広報委員会

発行者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 事務局

〒266-0031 千葉県千葉市緑区おゆみ野 4-21-1 スカイビルおゆみ野 2 階

TEL 080-3317-7864

発行：2022 年 5 月

<http://www.chiba-ot.ne.jp>



令和4年度県士会活動開始のご挨拶

千葉県作業療法士会
会長 坂田 祥子

皆様の日頃の千葉県作業療法士会（以下、県士会）活動へのご協力に感謝申し上げます。

新年度を迎え、新しい職場で業務を開始した方、新しい職員を迎えた方、皆さんそれぞれに心新たに新年度を迎えたことと存じます。県士会は、令和4年度の活動を開始していますが、今年度もコロナ禍の影響を受けながらの活動となりそうです。

活動計画は、令和3年度臨時総会にて承認された議案書が県士会ホームページに掲載されていますので、会員の皆さんに詳細を確認していただきたいと思えます。特に、今年度は令和3年度に組織改編し2年目となりますので、それぞれの部・委員会の活動の充実を図りつつ連携を深めていきたいと考えています。そして、役員改選が予定されていますので新役員への引継ぎを円滑に行い活動が継続されるように力を注ぎたいと思います。

話は変わりますが、私が千葉県作業療法士会員になったのは現在の職場に就職してからですが、2年目から県士会活動に加わり15年が経過しました。この経過の中で県士会は法人化し事務局を構え、ブロック活動、MTDLP、認知症リハ専門職

研修、災害リハ、地域包括ケアに資する人材育成研修、千葉県作業療法の発刊など、県士会活動の幅を大きく広げてきました。活動が広がるとそのための費用も必要となります。繰越金が減り続ける状況が続く財政の健全化を図るために令和元年度に会費を5,000円から

8,000円に変更しました。千葉県は、全国でも会員数が多い都道府県ですので財政規模としても大きいほうであるはずですが、活動を更に充実させて行こうとしていた矢先にコロナ禍に襲われました。令和2年初頭のことでした。開催するばかりとなっていた第21回千葉県作業療法士学会など対面での活動を停止せざるを得なかったのは無念でした。その後、県士会でもweb活用の体制を整え、オンラインでの会議や研修会の開催はアクセスのしやすさもありません。また、臨床実習指導者講習会も積極的に開催していただいたこともあり、研修会に参加できていなかった方も参加してくださるようになったのではないかと感じています。先日は宮崎県から当士会の研修会に参加された方がおられ大変うれしき驚きでした。

しかし、対面での活動が実施されない状況は、県士会として果たすべきことが十分になされていないと感じています。特に、コロナ禍後に作業療法士となられた皆さんにとっては、対面での様々な経験の機会を奪われていることに懸念を感じています。一日も早いコロナ禍の収束を願うばかりですが、できることを進めていくしかありません。このような時期だからこそ、多様な方法にTRYし、多様な作業療法ニーズに応えられる力をつけるチャンスなのかもしれません。当士会は、会員数も多いですし、会員の力を集めれば様々なことができるはずですが、会員のための活動、県民の健康と福祉に貢献する県士会活動を、私たち会員皆の力で作り出していきます。ぜひ、「こんなことをやってほしい」「こんなことをやりたい！」という会員の皆さんからの声を歓迎します。

どうぞ皆さんも県士会活動に関心を寄せていただき、皆さんそれぞれのできる形で県士会活動に参加してください。引き続き、県士会活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。



当士会では、表彰規程（令和2年12月2日施行）に則り、今年度初めて「一般社団法人千葉県作業療法士会 奨励賞」の表彰を行いました。

「奨励賞」は、県内養成校の学生（卒業年次）を対象に、士会への入会と養成への士気を高揚し、県内作業療法の発展に寄与することを目的としています。推薦要件は、在学中に学業等に優秀な成績を修め、かつ、a. 当士会主催の学会や学生対象イベント等に積極的に参画した者、b. 千葉県内に就職を予定している者（ab どちらか、または両方を満たす者）として、県内養成校6校から各1名を推薦いただきました。

栄えある初代「奨励賞」を受賞された方々には、若い力と発想で当士会に新しい風を吹き込んでいただけないかと思えます。受賞者の皆様のご活躍を期待しています。

授賞に際して、県士会ニュースへの掲載をご承諾いただいた受賞者4名のコメントをご紹介します。

この度はおめでとうございます！

これから一緒に千葉県の作業療法を盛り上げていきましょう！

氏名：小野寺 由比 さん
養成校名：八千代リハビリテーション学院
勤務先：千葉みなとりリハビリテーション病院

学院では幅広い知識を学び、最終学年での臨床実習では、患者様との関わることや作業療法の組み立て方を経験することができました。4月からは作業療法士として、この経験を糧にし、頑張りたいです。

氏名：藤原 真央 さん
養成校名：帝京平成大学
勤務先：千葉西総合病院

自分の考えを強く持った、患者様の生活のことを第一に考えて対応することができ、周りの方から信頼される人になりたいです。

氏名：高木 柚花 さん
養成校名：千葉県立保健医療大学
勤務先：国保旭中央病院

私はこの春から急性期病院で作業療法支援を行わせて頂きます。発症早期から患者様の生活を長期的に捉え、その人らしい生活のための支援を行えるよう、今後も知識や技術の習得に努めていきます。

氏名：福島 夕紀 さん
養成校名：国際医療福祉大学
勤務先：成田リハビリテーション病院

卒業はゴールでは無く、これから生涯続く私の長い長いOT人生の中の、スタート地点の第1歩です。これからも日々学び、患者様のことを常に考え、患者様の為になる作業療法を提供していきたいです。

学会賞・奨励賞・会長賞の発表

学会賞

関節脱臼に屈筋腱断裂を合併した患者への Modified Tang 法を用いた試み

千葉市立青葉病院 成富 大介さん

エビデンスの高い方法をそのまま使うのが難しい症例に、応用的に変法を考え報告してくれていました。今後、類似症例に対しても応用できる可能性を示してくれた点で評価される報告でした。

奨励賞

作業を中心とした実践により抑うつ気分の改善を認めた急性期蜂窩織炎後複合性局所疼痛症候群合併患者の一事例

千葉西総合病院 平山 裕太さん

痛みや意欲の低下といった難しい現象に対して、作業を用いることで抑うつが改善し、結果的に痛みも軽減されていた点に、作業療法のダイナミックさを感じることで報告でした。また急性期医療の中で、さらに作業療法が活躍できる可能性を示してくれた報告でした

会長賞

「母の介護をする」という役割を再獲得した症例

新八千代病院 後藤 美希 さん

母親と一緒に交通事故で受傷して、リハビリを受けながらも「母親の介護をする」役割は、この患者さんにとってとても大事な作業であろうと思います。作業療法として段階的に様々な介護ができるようにしたこと、介護を多面的に捉えて多職種で連携・協働して作業療法を展開しておられたところが高く評価できると考えます。今後も対象者の大事な作業の獲得にむけて、包括的視点と専門的視点から作業療法を展開していく作業療法士としてご活躍ください。

congratulation!!



第23回千葉県 作業療法士学会 を終えて

学会委員会委員長
須藤 崇行

令和4年3月6日(日)から始まったWEB学会も、3月20日(日)をもって無事に終えることが出来ました。参加していただいた皆さま、関係者の皆さまには改めてお礼を申し上げます。WEB学会になって2回目の開催ということもあり、なるべく沢山のコンテンツを準備することを心がけました。その甲斐もあり、概ね参加者の皆さまにはご満足いただけたのではないかと思います。しかしながらアンケートの結果からも、WEB学会の運営の難しさ、広報の問題、ホームページの使い勝手などの問題を把握していますので、今後の課題と考えています。来年度の学会はWEB開催となるのか? 現地で対面で行うのか? についてはまだ決まっていませんが、いずれにせよ皆様を楽しめる学会にしていきたいと思っておりますので、今後どうぞよろしく願っています。

令和4年度 現職者研修予定について

本年度の現職者研修を、日本作業療法士協会「生涯教育制度」に沿って以下のとおり実施します。
詳細については、今後、県士会ニュース、HPの最新の研修会案内等でご確認をお願いします。

共通研修

	実施時期（予定）	会場（予定）	テーマ
1	令和4年8月頃	ZOOM	① 作業療法生涯教育概論
			② 職業倫理
			③ 作業療法の可能性
			④ 事例研究1；事例報告と事例研究
2	令和4年10月頃	ZOOM	⑤ 作業療法における協業・後輩育成
			⑥ 保健・医療・福祉と地域支援
			⑦ 実践のための作業療法研究
			⑧ 日本と世界の作業療法の動向
3	令和5年2月頃	ZOOM	⑨ 事例研究2；事例検討
			⑩ 事例研究3；事例報告

選択研修（発達障害領域）

	実施時期（予定）	会場（予定）	テーマ
	令和4年11月頃	ZOOM	発達障害領域の基礎知識と作業療法の課題と展望
			作業療法の実際①（0歳～就学前）
			作業療法の実際②（就学・学童期・青年期以降：6歳～18歳以降）
			自閉症スペクトラム障害児に対する作業療法の実際（主に18歳未満）

運営委員募集のおしらせ

教育部では、現職者共通研修の運営にご協力いただける会員さんを若干名募集します。

お手伝い内容

- ① 研修会に関わる事前準備
- ② 研修会当日の運営補助（参加状況の確認などの簡単な作業）

【運営委員お得ポイント】

- ・運営委員は現職者共通・選択研修の参加費を免除いたします。
- ・現職者研修未受講の方や、これから受講する新人さん、どなたも歓迎いたします。

ご協力いただける会員さんは県士会ホームページの「お問い合わせ」から申し込みください。

※QRコードよりお問い合わせフォームに移動できます。



財務部からのお知らせ

会費シールについて

今年度より会費シールの発送はありません。会員番号紹介システムに移行します。
会費が1年間未納になりますと会員資格喪失になりますのでご注意ください。

今年度の会費自動引き落としの時期について

2022年度（令和4年度）会費引き落としは6月6日（月）を予定しております。
引き落とし額は8165円です（年会費8000円＋引き落とし手数料165円）。
残高不足の場合未納となりますので、口座残高確認をお願いします。

自動引き落としを利用していない場合

2022年度（令和4年度）年会費8000円を下記の口座に6月30日（木）までにお振込み下さい。

なお、振り込み手数料はご負担いただきますようお願いいたします。
また年会費の自動引き落としを推奨しており、口座振替依頼書の用紙郵送しますので、県士会ホームページのお問合せフォーム（右記QRよりアクセスできます）から会員番号、氏名、送付先郵便番号・住所をお知らせください。



新規入会の場合

2022年度（令和4年度）より新規入会申し込みの方は（入会金1,000円年会費8,000円）9,000円を下記の口座までお振込みください。

一般会員向け入会申込書はホームページ（右記QRよりアクセスできます。）より新規入会手続きフォームをダウンロードしていただき郵送にて申し込みをお願いします。



振込口座：千葉銀行 蘇我支店 普通預金 3827235

一般社団法人千葉県作業療法士会 代表理事 坂田祥子（サカタ サチコ）

令和3年度 一般社団法人千葉県作業療法士会 第1回臨時総会の報告①

去る3月28日(月)19時より 千葉県作業療法士会事務局にて令和3年度第1回臨時総会が開催された。今回の総会も、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、多くの代議員には議場出席を控えてもらった。

議決については、定款第36条「やむを得ない事由のために総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について、電磁的方法又は書面をもって表決し、又は他の社員を代理人として、電磁的方法又は書面によって表決を委任することができる。この場合において、第34条の定足数の適用については、出席したものとみなす。」に基づき、以下のとおりに行われたので報告する。

I. 議案書の公開と質問の受付

議案書をメール送付およびホームページで公開し、議案に対しての意見や質問を3月17日(木)まで受け付けたが、質問や意見はなかった。

II. 事前 WEB 説明会

令和4年3月21日(月・祝)10時よりオンラインでの事前WEB説明会を開催した。説明会での質問と回答、意見について以下に示す。

1) 議案書への意見

Q 県士会事業が拡大しており活動に感謝する。議案書の活動計画も情報量が多くなり、把握しにくい状況にある。会議開催回数や委員人数など共通する点は記載を統一するなど、わかりやすい資料となるよう工夫いただきたい。

2) 予算案への質問

Q 口頭で説明いただいた収入について、もう一度確認したい。予算総会であるので、書面で示してほしい。

A 手元資料を画面共有で示し説明を行った。23日までに誤りを修正し、会費収入を記載した資料をしめしたい。

Q 会費収入、事業収入、繰越金などを合計して2,500万円くらいとなり、次年度予算が1,500万円くらいということは、1,000万円くらい余ることか？

A 指摘の通りである。年度初めに年度予算程度の内部留保があることで年度当初から活動可能となる。会計事務所からもそのような指導を受け、適正な財務管理を目指しているところである。

3) 事務局への意見

Q 賛助会員の会費は会費収入の中でも重要と思われる。より多くの賛助会員の入会を促進していくべきではないか。

A 2020年度に県内の関連業者等に入会のお願いのお手紙を送付したが、それに対してはほとんど反応がなかった。

3) 事務局への意見

- Q 新規事業者など引き続き呼びかけをしていくとよいのではないか。
- Q 他職能団体では多くの医療機関が賛助会員となっているケースもある。病院等に賛助会員の呼びかけをしてもよいのではないか。
- A 検討したい。

4) 広報部広報委員会への質問

- Q 県士会啓発活動の企画委員会と推進活動との役割分担はどのようなものか。県民への広報はどちらが担当なのか。
- A 企画委員会では、学生向けのイベント企画を行っている。広報委員会では、一般の方への広報活動に比重を置いて活動を考えている。

5) 広報部広報委員会への質問

- Q 現在作成しているパンフレットは、県民も対象としているのか。
- A 学生とその保護者を対象とを考えていたが、県民へも十分に活用できると思われる。ご意見をうけ、広く県民への啓発素材として活用していきたい。

6) 広報部広報委員会への質問

- Q 県士会啓発グッズの開発と検証、具体的な使い道はどう考えているか。
- A 現状コロナ禍ということもあり、対面での啓発活動は全面的にストップしている。啓発物品として学会用にバッグを作ったが在庫として残っている状況。活用方法については検討したい。
- Q 啓発グッズやパンフレットなど、対面でないと配布が難しいものもあるが、コロナ禍においてはSNSの活用や、動画配信なども検討して欲しい。

7) 教育部臨床実習指導者講習会への意見

- Q 広報、啓発活動の拡大でTwitter等を活用すると説明があったが、学会委員会でも広報のためTwitterを使用している。県士会の情報発信のために、連携しながら既にあるTwitterを活用していければ良いのではないかと考えている。

8) 学術部への質問

- Q 各委員会の研修会は1年1回と少ないように感じるがいかがか。
- A コロナ禍にあり、オンラインの研修となってから参加者が少なく、研修会開催自体が難しくなっており、動員にかなりの労を要している。また委員も少なく、活発な活動が難しい状況になる。対面での研修会開催が行えるようになったのちの検討課題としたい。

9) 40周年事業特設委員会への質問

Q 令和3年度において、作業がどこまで進捗したか

A 印刷製本業者選定（完了）、祝辞依頼（完了）、歴史の変遷（完了）、学会情報（80%）、WFOT（資料収集完了）、県士会会長コメント（未）、協会長との対談（未）

Q 事業が3年度で完了しなかった理由は何か

Q 令和4年度において、記念誌を予定通り発行させるための方策

A 人員の適正配置、作業の分担、マイルストーンの再設定が必要である。編集作業で思ったのは単なる写真集となってしまふ感触があり、それぞれの項目で携わった、またはその時期を知る方々のコメントなどで県士会がその歩みを進めた思いやバックボーンなどが含まれた方がより意味のあるものになるのではないか。年度をまたぐ結果になってしまったがそれらを含めることができないか検討したい。

10) 表彰委員会への質問

Q 事務局渉外部が担当している千葉県精神保健福祉協議会顕彰の推薦は、表彰委員会が担当できることではないか。表彰委員会はいつから活動ができるのか。

A ご指摘の通り、千葉県精神保健福祉協議会顕彰の推薦については、渉外部と相談し表彰委員会が担当することを検討したい。委員が選出されたので、早期に委員会を開催し役割が担えるようにしていきたい。

11) ブロック活動部連携システム委員会への質問

Q ブロック活動部の説明で、ブロック間の連携や各部局委員会との連携とあったが、現時点で取り組まれている具体的な内容があれば教えてほしい。

A 以前よりブロックの垣根を超えた連携活動ができればよいとの声は委員会内でも挙がっていた。今年度から具体的な話し合いが進み始めている状況であり、現時点では、取り組みはまだ行えていない。今後、連携につながる活動ができれば、適宜報告したい。

12) 連携システム委員会への意見

Q 「従来のマメールの運営見直し」について、現在、共生社会推進委員会が予算と主な運営について担っているため、運営の見直しを進める際には、協力し合って、良い形で進めていただきたい。

A ご指摘のとおり、地域共生社会推進委員会と相談しながら進めていきたい。マメールの活用も多岐に広がっており、今後は地域共生社会推進委員会以外の部署とも意見を交わしながら進めていけると良いと考えている。

13) 全体への意見（滑川）

Q 現在、千葉県内で現在、OTとして活動されていない有資格者に対してのバックアップ、呼びかけ活動なども意識して活動に含めてほしい。

III. 総会欠席者の表決

事前に郵送した議決権行使書兼委任状を3月27日（日）必着で受付けた。

IV. 議決と結果の報告

：代議員40名中、議場出席2名、議決権行使書提出30名、委任状提出1名であった。議案について賛成33名で承認された。

（千葉県立保健医療大学 有川真弓）



まめーる（Mmail）ってなあに？

みなさん、「まめーる」をご存じですか？

現在、340名ほどの会員が加入されています。

災害時の連絡手段・情報収集を大きな目的としていますが、千葉県の作業療法に関するいろいろな情報や研修の最新のお知らせを、メールで、いち早く受け取ることができるサービスでもあります！

常時お使いの携帯電話やタブレットなどでご加入いただき、ぜひ活用してください。

『そうなんだ。知らなかったー。』という会員のみなさん、この機会にQRコードやメールアドレスからご加入ください。QRコードの場合は読み取り用のアプリを利用するとスムーズに登録が進みます。もし、退会されたい場合も、送られてくるメール「まめーる」の文面に毎回退会の仕方が掲載されています。

安心して、ご加入ください。

地域共生社会推進委員会まめーる担当

メールアドレス：caot_iha0006@mamail.jp



学術部 精神障害委員会より

学術部精神障害委員会主催研修会 開催報告

日時：令和4年2月11日(金) 13時～
 研修会名：『精神科における転倒予防の評価と介入』（zoomでのオンライン研修会）
 講師：細井匠先生（武蔵野中央病院リハビリテーション科/理学療法士）
 参加者：23名

今年度の学術部 精神障害委員会研修会は表題のとおり、武蔵野中央病院の細井先生をお招きして精神科における転倒予防についてオンラインでの講義をいただきました。

まずは講義形式として、武蔵野中央病院で取り組まれてきた転倒予防対策について様々なデータを添えて話がありました。高齢化、服薬の影響、転倒しやすい環境、身体機能の認識など、日常的に業務を行う中で気にかけていてもなかなか数値化・定量化する機会のないものをデータとして目にすることができ、精神科における転倒事故とそれに向けた対策について理解を深めることができましたと思います。

その後ブレイクアウトルームに分かれてのグループワークを行いました。ここではjamboard（web版のホワイトボードのようなアプリ）を用いて各参加者が自由に意見を述べられる場を設定しました。限られた時間ではありましたが、jamboardの使い勝手の良さもあり各グループとも密度の濃いディスカッションや有益な情報共有の場となっていました。

講義のまとめでは、転倒予防への対策はリハスタッフ単体では実現が難しいことがあり病院内外含めて多職種との協業が重要になるという話と共に、将来的には『精神科で心身両面からリハビリテーションを普通に提供できる体制』が実現されることが望ましいというスライドで研修会が締められました。精神科病院に身を置くスタッフとして常に考えなければならないテーマだと改めて思い至りました。

今回は精神科で働くスタッフにとって避けては通れない「転倒予防対策」がテーマということで、想定を上回る応募があり盛況な研修会を開催することができました。短い時間ではありますがグループワークの時間も含めて非常に密度の濃い研修会になったと感じています。講師の細井先生並びに参加者の皆さまへ感謝申し上げます。



グループ2

テーマ1

- 経験、技術、実践の継承
- 夕暮れ型夜間症候群
- 身体イメージの低下
- 1-脳神経、2-時、身体機能への関与が強い
- 0時後のリハビリが難しい
- 精神的疾患による影響

テーマ2

- 他職種と共同リハ
- 医師の指導を待たず、積極的に意見を述べる
- 医師との連携、医師の指導を待たず、積極的に意見を述べる
- 医師の多い科との連携、医師と連携し、意見を述べる
- 医師の中で連携を深める

テーマ3

- 個別リハの充足
- 正しい靴の重要性
- 他職種への働きかけ

グループ3

グループワーク

1. 講義内容以外に、精神科で転倒の多い理由として思い浮かぶことがあれば教えてください
2. 皆さんの勤務先の転倒予防対策で効果的だと感じている対策はありますか？
3. 今後、作業療法士としてどのような方法で転倒予防に取り組めそうですか？

グループ毎に15分程度、話し合ってみてください

2. 作業療法士の役割（実践例）

- 1. 医師の指導を待たず、積極的に意見を述べる
- 2. 医師の中で連携を深める

東葛南部ブロック研修会報告

日時：令和4年3月20日(金)

研修会名：真剣OTしゃべり場～坂田会長といっしょに自分のこと、チームのこと考えてみませんか?～

講師：酒田 祥子 先生（東京湾岸リハビリテーション病院）

2022年3月20日(日)に、千葉県作業療法士会会長である坂田祥子先生をお招きし「真剣OTしゃべり場～坂田会長といっしょに自分のこと、チームのこと考えてみませんか?～」をオンラインにて開催しました。

坂田先生の生い立ちから作業療法士としての歩み、東京湾岸リハビリテーション病院での教育体制やなど実例を踏まえて講義いただきました。

講義の後は「理想の作業療法」をテーマに、参加者の皆さんとディスカッションをし、教育や管理・運営、臨床など、お互いの悩みを打ち明けつつ「明日から何が出来るか」を考える機会になりました。

その後の懇親会では、オンラインでの開催でしたが和やかな雰囲気の中で情報交換を行えました。

今回は、学生さんも含めて6名の方々に参加いただきました。また、千葉県内だけでなく宮崎県からの参加者もあり、地域特有の事情も知れました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



福祉用具対策委員会より

福祉用具相談支援システム運用事業合同業務連絡会参加報告

皆さん、福祉用具を活用していますか？

多種多様な福祉用具を効果的かつ適切に使用して、対象の方が自分らしく生活できるように支援していくことはOTのやりがいであり、強みかと思えます。

とはいうものの、多くの福祉用具の中から対象の方にあつた道具の選定は至難の業…。「誰かに相談してよりよい支援を考えたい」との思いを抱えている方も少なくないのではないのでしょうか。

(社)日本作業療法士協会生活環境支援推進室では、協会会員への支援を強化する取り組みの一環として、Web上における福祉用具相談支援システムを構築しており、千葉県作業療法士会福祉用具対策委員会も2019年よりアドバイザーとして参加しています。

去る2月6日に27都道府県士会の代表40名がオンライン上に集まり開催された福祉用具相談支援システム運用事業合同業務連絡会に参加してまいりました。

本システムの利用者数、相談数ともにR2年度と比較すると増加しており、少しずつ会員の皆さんに本システムのことを知っていただけていると感じました。

千葉県の状況を見ると、本年2月時点で33名の方

が本システムに登録をされており、1件のご相談を頂きました。登録者数も徐々に増えつつあり、今後も積極的にご利用いただきたいと思います。

本システムを利用しての感想では、「入力フォームの項目に沿って記載することで情報を整理しやすかった」「すぐに返信がありスムーズに相談ができた」「丁寧に対応してもらえた」「同じ悩みをもった相談投稿があるので参考にしている。」など概ね好評を頂いています。

今後はホームページのレイアウトの修正や、相談サマリーの簡略化などよりアクセスしやすい工夫を行っていくとのことでした。

また、生活行為工夫情報事業についての情報提供もありました。こちらについては、改めて皆さんに紹介をしたいと思います。

福祉用具の活用について悩んでいる方がいらっしゃいましたらぜひ、福祉用具相談支援システムを積極的に活用していただければと思います。

(おゆみの中央病院 露崎 雄太)



福祉用具相談支援システム詳細はこちら

福祉用具相談支援システム 相談の流れについて

1 福祉用具相談支援システムにアクセス

<https://www.jaot.info/index.php>

※福祉用具相談システムを利用するには、利用登録が必要です。

2 初回登録を完了したら、システムにログイン

3 初めての方は「初回相談」に内容を記載し投稿

4 「相談掲示板」にアドバイザーより相談への返信

※相談終了まで相談者とアドバイザーとのやりとりを繰り返します。

5 相談終了後アンケートに回答 お疲れ様でした！

安心ポイント！

アドバイザーとの相談は実名ですが、相談掲示板には実名公開されませんのでご安心を。

簡単な問い合わせでもOKです！

「こんな福祉用具ありませんか」「介護保険では利用できますか」など、幅広くいろいろな問い合わせ・質問を受け付けます。気軽に相談してみてくださいね！

千葉県作業療法士会福祉用具対策委員会のメンバーがご対応します！

困難事例や特殊な事例だけでなく、福祉用具に関するどんな質問でもお待ちしております。一人または少人数の職場で相談できる人がいない。身近に相談する機関がない方など大歓迎です！みなさんお気軽にご相談ください。みなさんの相談をお待ちしています！一緒に解決していきましょう！

福祉用具対策委員会では一緒に活動していただけるメンバーを募集しています！

活動に興味のある方はこちらのメールアドレスまでご連絡ください！！

ご連絡お待ちしております m(_ _)m

fukushiyouguchibaot@gmail.com

臨床実習指導者講習会委員会より

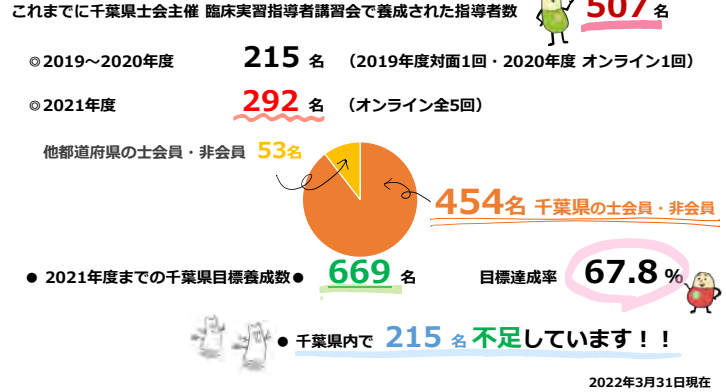
2021 年度臨床実習指導者講習会委員会活動実績報告

2021 年度活動総括

2021 年度は全 5 回、オンラインでの臨床実習指導者講習会を実施しました。
2019 年から 2022 年 3 月末時点で、507 名が受講修了しております。
千葉県としては、目標とする養成数 669 名に対して 67.8% の達成率となっています。今後、**不足している 215 名を養成する必要があります。**

指導者養成状況の現状と課題

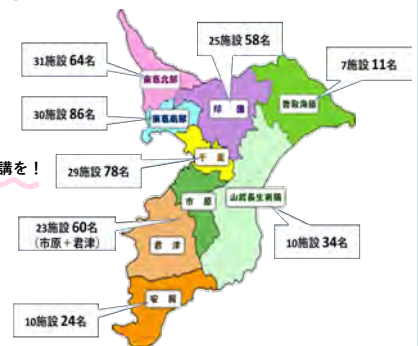
右は、上記内容（上段）と、受講者の所属分野、医療圏域別修了者マップ（下段）です。
千葉県に限ったことではありませんが、身障分野の受講者がほとんどで、臨床実習としては**精神・地域分野での実習指導者担保の観点からも、圏域・分野に偏りなく千葉県内での指導者養成を、今後目指す次第**です。
以上のことから、継続して指導者講習会の開催を進めつつ、分野を問わず様々な領域の OT におかれましても、積極的に本講習会を受講することをお勧めします。



受講者の所属分野



医療圏域別 修了者マップ



2022 年度活動方針

2022 年度も全 3 回オンライン開催とし、各回 100 名受講可能な体制で準備しております。受講対象についても、継続して非会員・他県士会員も「可」としていきます。
加えて、今年度は県士会員の皆様や各病院・施設の管理者の方々のための、**臨床実習指導者講習会受講の必要性についてお伝え**

る動画の配信も行います。現在、動画作成中ですが、完成しましたら是非皆様、一度ご視聴頂き、本講習会への受講につなげて頂ければと思っております。今後ともどうぞ、千葉県における後輩育成指導の観点からも、臨床実習指導へのご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

千葉県臨床実習指導講習会委員長 柴田

2022 年度臨床次週指導者講習会日程について

2022 年度は下記の日程にて全 3 回の指導者講習会を開催いたします。
申し込み方法などの詳細については、申し込み日が近づいた時点で適宜、県士会ホームページの臨床実習指導者講習会、研修会情報にてご案内します。各自ご確認のうえ受講要件を満たしている方は、奮ってご参加ください。委員一同皆様のご参加をお待ちしております。

	開催日	事前オリエンテーション	申込期間
第 1 回	R4.5.14 (土)、15 (日)	R5.5.13 (金)	R4.3.14 (月) ~ 3.23 (水)
第 2 回	R4.8. 6 (土)、7 (日)	R4.8.5 (金)	R4.6.1 (水) ~ 6.12 (日)
第 3 回	R4.12.3 (土)、4 (日)	R4.12.2 (金)	R4.10.1 (土)、10.10 (月)

※ニュース時点で第 1 回の申し込み受け付けは終了しています。



理事会報告

2021年度 第10回 理事会

2022年1月20日(木) 19:00～21:00 WEB会議

坂田、須藤、松尾、有川、池滝、大塚、熊谷、今野、多田、露崎、土居、野口、鎗田、横山、池澤：計15名

【検討事項】

- 令和3年度臨時総会について(令和4年度活動計画と予算)
 - 今年度会費未納160名超、事務局より請求書再発送済み。
 - 総会の議案書作成に向け、令和4年度収入見込みの報告。
 - 令和4年度予算案・令和3年度残金・収入見込みの算出中。
 - 令和4年3月21日総会開催予定。対面開催の是非は次回理事会で決定するとした。
- 介護保険審査委員・障害者介護給付費等審査委員の任期と選定に関する規則について(渉外部)
 - 現状の推薦状況と継続期間の確認作業を行い、適宜、会議参加し得る適切な人材の選出が必要(ブロックにも確認)
 - 選出に適切な基準が必要であり、安定した人材の選出も視野に入れ、任期満了後の再任も検討していく。⇒継続審議
- 「奨励賞」について
 - 千葉県内の養成校卒業生に向けて授与する予定。県士会ニュース掲載も検討中。

【連絡事項】

- OT協会の地域支援事業への参画推進WEB研修会参加報告について
 - 通所C型の事例報告会が開催され、次年度以降には通所C型の事例報告会の開催を県内でも検討していく。

- 認知症のひとと家族の会千葉県支部交流会の参加と今後についての検討報告について
 - 令和3年12月に家族交流会が開催され、認知症対策委員会として出席した旨の報告があった。
 - ⇒認知症リハ専門職コース修了者の参加も今後検討していく。
- 県士会パンフレット完成について(広報部)
 - 目的として、一般に対して千葉県作業療法士会・作業療法の啓発や周知を促す。
- 令和3年度千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会について
 - 運営上の課題・改善点の確認を行い、次年度の予算案の見直しと運営部員の再選出を行う予定。月末には、次年度から主催予定の千葉POSへの説明会に参加することとなっている。
- 学会報告
 - 学会の抄録は配布済み、事前参加申し込み開始。
 - 3月6日・13日の2日間開催予定。

【連絡事項】

- 代議員選挙について
 - 立候補39名について県士会ニュースへ宣伝文を掲載予定。

2021年度 第11回 理事会

2022年2月15日(水) 19:00～21:07 WEB会議

坂田、須藤、松尾、有川、池滝、熊谷、今野、多田、土居、野口、鎗田、横山、池澤、滑川：計13名

【検討事項】

- 令和3年度臨時総会について(令和4年度活動計画と予算)
 - 予算理由書と収入金について確認し、令和4年度予算の勘定項目について確認した。
 - 臨時総会の開催方法について：コロナ終息方向が見えないため、事前質問受付の後、事前説明会をオンライン開催。議決権行使書での表決とする。
 - 事前説明会：3/21(月・祝)10:00～
 - 臨時総会：3/28(月)19:00～19:30 会長・事務局長が出席
 - 災害対策委員会が管理していた支援金の今後の管理方法について→雑収入となり、一旦精算する必要あり。
 - 支援金の残高や使用用途を記録に残し現実的な方法を検討する。⇒支援金を使用する際には補正予算を組んで理事会に起案し使用する形をとる。その際に、使用用途・残高等を議事録に記載することとする。
- 「会員の個人情報の取り扱いに関する覚書」(改訂案)の締結について(庶務部)

OT協会からの説明資料を共有し、今後士会の会員情報を協会に提供するための覚書の締結を行う。⇒継続審議

3月の臨時総会へは議案としてではなく、説明する程度とする。以後もニュース等で告知するなど段階的に説明し、来年度の定時総会での議案提出を目指す。
- 次年度休会申請者の承認について(庶務部)

申請者：10名 ⇒承認

- 賛助会員の承認について(庶務部)

新規入会1団体、今年度手続き不備にて登録できず、次年度からの入会となった。⇒承認

現4団体の継続⇒承認
- 卒業生対象の説明会について
養成校卒業予定者への説明会のオンライン開催を計画(3月24日、25日)⇒承認

【連絡事項】

- 「千葉県認知症対策推進協議会参加報告」

医療と介護の地域支援体制強化事業：認知症コーディネーター養成研修が今年度で終了となる。
 - 生活期リハビリテーション実務者研修の委員選出について
現委員より新委員の推薦あり。本人の意向確認する
- ### 【連絡事項】
- 令和3年度第2回千葉県介護予防市町村支援検討会議。⇒3月開催予定だったが中止。次年度に改めて実施予定。
 - 令和3年度会計の締め作業を3/25までとし、親口座への返金作業は3/31までに行って頂きたい。
 - 奨励賞の連絡が養成校から入ってきていない。再度連絡する。
 - 千精協の県知事表彰候補について、メール審議で異論なかったため、手続きをすすめる。
 - パンフレットの改訂について、引き続きメールにて意見を出して頂きたい。



理事会報告

2021年度 第12回 理事会

2022年3月17日(木) 19:00～21:22 WEB会議

坂田、須藤、松尾、有川、池滝、大塚、熊谷、今野、多田、露崎、土居、野口、横山、池澤、滑川：計15名

【検討事項】

- 令和3年度臨時総会について(令和4年度活動計画と予算)
 - ・議決権行使書を代議員に送付済み。収支予算については、定時総会で報告する。
- 「会員の個人情報の取り扱いに関する覚書」(改訂案)の締結について(庶務部)
 - ・千葉県士会としても会員の理解を得ながら進めていく。
 - 3月21日説明会でも、説明を考えている。
 - ⇒会員への説明方法については今後、広報などと相談を進める。
- 研修用委員の任期について(1年任期可能かどうか)
 - ・委員任期は、理事任期の2年が基本。単年の委嘱状発行は可能。
 - ⇒委員の確保に難渋。現状の打開策としての対応を考えている。
- 千葉県作業療法士会設立40周年記念誌について
 - ・記念誌編集作業を令和4年度まで延期を検討いただきたい。
 - 繰り越した場合の予算執行見込みについてはいかがか。
 - ⇒年度として予算繰り越し計上したいと考えている。
 - 決算、予算は差し込み対応は可能。次年度も継続実施する。
- 研修会運営にかかわる委員、部員の確保について
 - ・参加を促すことで得られるメリットだけでは、現状コロナ禍では集まりにくい。検討事項3にあがった対応などの方策も検討。
- 動画での講義資料の再配信の際の講師謝金について
 - ⇒継続検討する

7. 役員選挙準備について

- ・担当委員に確認し、進捗状況について適時報告していく。

8. 事務局パソコンのウイルス感染について

- ・ウイルス除去作業終了。パソコンについては次々年度更新を検討。
- ・問題発生時には、多田理事に対応を依頼した。

【連絡事項】

1. 「第23回千葉県作業療法士会学会報告」

- ・オンデマンド配信3月20日まで行っている。
- ・参加者は現在集計中おおよそ140名程度、うち学生17名。

2. 千葉県作業療法士会「奨励賞」報告

- ・各養成校から1名ずつ選出頂いた。殆どの学生が県内就職。

3. 養成校卒業式参加報告・県士会入会案内について

4. 千葉県作業療法士会オンライン説明会

- ・3月24日(木)25日(金)18:30～
- ※各養成校に案内を配布済み

5. 47委員会参加報告

6. 千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会参加報告

【報告事項】

1. R3. 臨床実習指導者講習会修了のご報告

- ・県内で292名修了者を輩出。

2. 高次脳機能障害研修会参加の報告

3. 3月16日の地震について他県士会等からの情報について

4. 教育支援の情報交換会について

研修会情報

詳細については千葉県士会HP研修会案内をご確認ください。

令和4年度 第1回 東葛南部 OT サポート交流会

【主催】千葉県作業療法士会東葛南部ブロック委員【日時】2022年6月2日(木)

【時間】19:30～21:00(入退室自由)【開催形式】Zoomによる交流会(飲食自由)

【開催内容】東葛南部に関わりのある作業療法士や作業療法学生の方々と日頃のOT(悩みや夢など)

に関する、ざっくばらんな交流会【講師】なし(司会進行:東葛南部ブロック委員)

【定員】30名【申し込み方法】QRコードを読み取り、お申し込みください

【申し込み締切り】令和4年5月28日(土)23:59迄



令和4年度 第2回 臨床実習指導者講習会

【日時】2022年8月6日(土)、7日(日)【開催形式】Zoom開催【定員】100名(実務経験4年以上。千葉県士会員優先。定員を超えた場合には、同一施設からの申し込み者数の調整後に抽選)

【参加費】①都道府県士会員:3,000円(資料代1,000円含む)

②都道府県士会員外:15,000円(資料代1,000円含む)抽選後、受講可となった方へ、お振込み方法についてご案内いたします。

【申込期間】2022年6月1日(水)～6月12日(日)

申し込み方法については講習会ごとにGoogleフォームでの申し込みになります。県士会ホームページの研修会案内や臨床実習指導者講習会ページ(<https://www.chiba-ot.ne.jp/member/rinsyouzissyuu/>)にてご案内しますので、適宜ご確認ください。